

家庭科学習指導案

【題材】 Everyone feels comfortable!—心地よく住もう— (B (6))

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの風通しをよくする窓の開け方や, 不快な生活音の防ぎ方についての基礎的な知識と, それらに係る技能 	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの風通しをよくする窓の開け方や, 不快な生活音の防ぎ方についての問題を見だし, 適切に解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として快適な生活の実現に向けて, 家庭で実践する楽しさや家族との関わりを感じながら, 住まいの風通しをよくする窓の開け方や, 不快な生活音の防ぎ方を工夫しようとする態度
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> 窓を開けることで, 換気ができることや, 扉を閉めることによって不快な生活音を減少させられることを経験してきている。 効率よく風通しをよくする窓の開け方や, 不快な生活音そのものを減少させる方法は十分に身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣生活の中から問題を見だして課題を設定し, 家族との食事や団らんに役立つ, 布を用いた製作についての様々な方法を考え解決してきている。 家族の思いに合わせて, 窓の開け方とその快適さについて考えたり, 不快な生活音の防ぎ方を工夫したりする機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で団らんの時間を楽しくするためのお茶や果物の準備の実践をし, 家族と飲食を共にする楽しさや, 家族とのつながりを深める喜びを感じてきている。 住まいの風通しをよくする窓の開け方や, 不快な生活音の防ぎ方を, 家族や自分の生活に合わせた実践をする機会は少ない。
価値	<ul style="list-style-type: none"> 模型に煙を充満させて窓の開け方を試すことは, 目に見えない風を煙の動きで可視化することができるため, 窓の開け方についての基礎的な知識と, それに係る技能を身に付けることができる。 生活音を測定しながら, 生活音の防ぎ方を試すことは, 音を数値化して比べることができるため, 不快な生活音そのものを減少させる方法についての基礎的な知識と, それに係る技能を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 温度や湿度の異なる複数の部屋や, 校内の複数の生活音を調べることは, 自他にとって心地よく過ごすための換気や温度や湿度, 生活音に係る問題を見出すこととなり, 住生活についての課題を自ら設定することができる。 窓の開け方によって, 風の流れを変えたり, 物の位置や材質を変えることによって, 不快な生活音を防いだりすることについて, 友達と一緒に様々な方法を試し, 考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で風の通り道づくりや生活音防ぎを行うことは, 学校で身に付けた窓の開け方や不快な生活音の防ぎ方を応用できることを実感し, 家族と心地よく住もう態度を形成することができる。 家庭で風の通り道づくりや生活音防ぎの実践をすることは, 家族からの反応を確認できるため, 家族から感謝される喜びを味わったり, 家族の一員として心地よい生活を支えることができる自分に気付いたりすることができる。
見方・考え方	<p>家族と共に過ごす部屋の換気や温湿度の調節ができるように, 窓の開け方を工夫したり, 家族と共に過ごす家で互いの不快な生活音の防ぎ方を工夫したりすること。(協力・協働の視点, 健康・快適・安全の視点)</p>		
今後の学習	<p>5年「ピカピカピフォアフター」で, 家庭内の汚れの種類や汚れ方に応じた手軽で手際の良い清掃の仕方を考え, 教室や家庭の清掃を行う学習へと発展していく。</p>		

指導と評価の計画

目標	風の力を生かした室内の風通しをよくする窓の開け方や、不快な生活音の防ぎ方が分かり、日常生活に生かそうとする。			
評価規準	<p>(①知・技) 室内の風通しをよくする窓の開け方や、不快な生活音の防ぎ方が分かり、室内の温度や湿度の調節をしたり、生活音を防いだりすることができる。</p> <p>(②思・判・表) 室内の風通しをよくする窓の開け方や、不快な生活音の防ぎ方について課題を見だし、室内の風通しをよくする窓の開け方、不快な生活音の防ぎ方を考え、工夫している。</p> <p>(③主体的態度) 風の力を生かして室内の風通しをよくすることや、不快な生活音を防ぐことに関心をもち、風の力を生かして室内の温度や湿度の調節をしたり、家族や地域の人々との関わりを考え、配置や道具の使用、気配りによって不快な生活音を防いだりしようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
見 つ め る ・ つ か む	1	<p>○室内の風通しをよくする窓の開け方や、不快な生活音の防ぎ方についての疑問点や調べたいことを考えて、課題をつかむ。 課題：「自分や家族が心地よく生活するために、室内の風通しをよくしたり、不快な生活音を防いだりするには、どのようにしたらよいのだろう」</p> <p>○家庭で室内の風通しのよい部屋や、風通しのよくない部屋、また、その部屋の温度や湿度を調査する。</p> <p>○家庭で聞こえる快適な生活音と不快な生活音を調査する。</p>	<p>○風の力を生かして室内の温度や湿度を調節することや、生活音を防ぐことへの関心を高められるように、風の流れや、温度や湿度が異なる複数の部屋や、校内の複数の生活音を録音した音源を用意する。</p> <p>○室内の風通しと窓の開け方との関係に着目できるように、窓や扉の位置を記録できる学習プリントを用意する。</p> <p>○音に対する感じ方の違いに気付けるように、自分や家族の音の感じ方を表で整理できる学習プリントを用意する。</p> <p>○室内の風通しをよくする窓の開け方や、不快な生活音の防ぎ方を明確にしていく学習の見通しをもてるように、快適な室内の温度や湿度の目安や、騒音の環境基準の資料を用意する。</p>	<p>◇室内の風通しをよくする窓の開け方や、不快な生活音の防ぎ方について、疑問点や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 ＜学習プリント・発言③＞</p>
	1	<p>○学習計画を立てる。</p>		<p>◇室内の風通しをよくする窓の開け方や、不快な生活音の防ぎ方を追究する方法について考え、試行する内容や手順、試行した方法を評価する基準を記述したり、発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞</p>
追 究 す る	1	<p>○模型を使い、風の通り道のつくり方を話し合う。 (本時)</p>	<p>○風の通り方を目で確かめながら、室内の風通しをよくする窓の開け方を具体的に考えられるように、開閉できる窓が複数ある部屋の模型と、その模型の中に充満させる煙を用意する。</p> <p>○風通しをよくする窓の開け方と、室内の温度や湿度との関係に気付けるように、風の通り方を可視化できるスズランテープと温湿度計を用意する。</p> <p>○学校内の様々な場所の生活音を調べられるように、騒音計アプリの入ったタブレットと記録用紙を用意する。</p> <p>○不快な生活音の防ぎ方を検討できるように、試行した不快な生活音の防ぎ方の改善点や適切な防ぎ方を記述する学習プリントを用意する。</p>	<p>◇自分たちで考えた室内の風通しをよくする窓の開け方を記述したり、発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞</p>
	1	<p>○教室で風の通り道づくりをする。</p>		<p>◇風の入口と出口をつくることで、室内の温度や湿度が調節できることを記述している。 ＜学習プリント①＞</p>
	1	<p>○学校内の生活音を測定し、不快な生活音の防ぎ方を話し合う。</p>		<p>◇防ぎたい不快な生活音や、試してみたい防ぎ方を記述している。 ＜学習プリント②＞</p>
	1	<p>○教室で生活音防ぎをする。</p>		<p>◇家具や音源の位置や向きの変更、マットやクッション材の使用、気配りにより音を小さくしたり、それらの防ぎ方と効果を記述したりしている。 ＜行動・学習プリント①＞</p>
ま と め る ・ 広 げ る	家庭	<p>○家庭で風の通り道づくりや、生活音防ぎを行う。</p>	<p>○自分だけでなく、家族も心地よく生活できる窓の開け方や不快な生活音の防ぎ方を考えられるように、家族へのインタビュー欄を設けた学習プリントを用意する。</p> <p>○室内環境を快適にする意欲をさらに高められるように、話し合う際の観点として、「家庭でさらに取り組みたいこと」を提示する。</p>	<p>◇家庭で取り組んだことのよさを基に、家族のために、風の力を生かして室内の風通しをよくしようとしたり、生活音を小さくしようとしたりする思いを記述している。 ＜学習プリント①②③＞</p>
	1	<p>○家庭で風の通り道づくりや、生活音防ぎを行った結果を、インタビューを基に話し合い、題材の振り返りをする。</p>		

本時の学習（3／7時間目）

ねらい 模型を用いて、複数の窓の開け方を試行しながら、煙の流れを比較し、室内の風通しをよくするための窓の開け方を話し合うことを通して、室内の風通しをよくする窓の開け方について、自分なりの考えがもてる。

評価項目 自分たちで考えた室内の風通しをよくする窓の開け方を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言②>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風通しをよくしたいのは、涼しくて心地よくなるからだよ。風通しがよい窓の開け方は、風が入ってくる壁の窓を2つ開けた時だと思ふな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・模型で自分の考えた窓の開け方を試してみたいよ。それから、友達と話し合って、風通しのよい窓の開け方を見付けたいな。 (目的意識) </div> <p>めあて：模型を使って風の流れを見ながら、風通しをよくする窓の開け方を見付けよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○室内の風通しをよくするための窓の開け方を見付けるという目的意識をもてるように、風通しをよくしたい理由と、本時に行う模型を用いた窓の開け方のパターンの中から風通しのよいと思う開け方を問いかける。 ○試行した際の煙の動きを基に、風通しをよくする窓の開け方を話し合う本時の活動の見通しがもてるように、模型を大型モニターで提示し、本時取り組みたいことを問いかける。
<p>2 模型を用いた窓の開け方を試し、風通しをよくする窓の開け方を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・煙の動きで、風の流れがよく分かるね。ぼくの考えた窓の開け方で煙が全部なくなったよ。 ・風が入る側と、隣の壁の窓を開ける方法も、煙の動きが速くていいよ。でも、煙が全然動いていない場所があるな。 ・友達の「風の出る窓は、なるべく遠くの窓を開けた方が、全体の煙が動いてる。」という意見に納得だな。確かに、風が入る側と反対の壁側の窓を開ける動画を見ると全体の煙が動いているよ。 ・風が入ってくる窓とその反対の窓を開けるのが、風がよく通りそうだね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・室内の風通しをよくするには、風が入ってくる側とその反対側の窓を開ける方がいいのだな。こうすれば、涼しくて心地よく生活できるよ。 (目的を解決した意識) </div> <p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模型を使って風の流れを比べたり、友達の考えを聞いたりして、室内の風通しをよくする窓の開け方が分かったよ。次回は、実際の部屋で試して、自分の生活に合った窓の開け方を見付けたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○模型内の煙が流れる様子から風の動きを確かめられるように、タブレットで動画を撮りながら模型を用いた窓の開け方を試行するよう促す。 ○模型内の煙の流れに着目できるように、視点「模型内全体の煙の様子」を提示する。 ○窓の開け方のよさや改善点に気付けるように、タブレットで撮影した煙が流れる様子の動画を比べるよう促す。 ○室内の風通しをよくする窓の開け方に気付けるように、撮影した動画を視聴しながら、友達の思いを考慮してよさや改善点を伝えている児童を称賛する。 ○室内の風通しをよくするためには、風上と風下の窓を開けるとよいことを確かめられるように、話し合いで出た改善点を基にして、再度開け方を試行するよう促す。 ○本時に見付けた風通しをよくする窓の開け方で家庭や学校で風の通り道をつくる意欲や、次時で実際の教室で試す意欲を高められるように、本時の活動を通して「分かったこと」「自分の生活に合わせて、今後取り組みたいこと」を視点に振り返りをするよう促す。